

心に響く人生の達人セミナー

H20. 11. 27 (木) 13:00～

講師 有限会社 ハミングバード 代表取締役 浜田 淑子 氏

元長崎放送「NBC」のアナウンサーで、現在鎌倉ケーブルテレビのアナウンサー、結婚式等の司会者として活躍されている浜田淑子さんを講師に迎えて講演が行われた。

以下浜田淑子さんの講話より

私は、父が奈留島の出身で最初、講演会の依頼を受けたときに、何かの縁を感じました。現在も、叔父が奈留島に住んでいるということもあり、非常に親近感を持っています。奈留島で過ごした記憶はほとんどありませんが、魚釣りに行った思い出があります。

長崎の短大を卒業後、長崎放送にアナウンサーとして入社しました。テレビのアナウンサーやラジオのDJなどを担当しました。番組で、教会めぐりなどを通じて、五島の美しさを実感しました。NBCで仕事をした3年間で、今の私の基礎を作っていると言っても過言ではありません。アナウンサーという仕事は、決して失敗が許されません。毎日、基礎的な訓練（ボイストレーニング）を3ヶ月続けて、初めて短いニュースを読ませていただきました。努力すれば、その結果が実るということを実感しました。しかし、ここで気付いたことの一つは「10努力しても1しか表現出来ないできないこともある」ということです。だからといって努力しなかったら、結果は全然ついてこないということ学びました。

講演者の浜田 淑子 氏→



その後、結婚して上京しました。1年間は、家事に専念していました。というのは、その当時、結婚したら男性が仕事をして、女性は家庭に入るという考えがあったからです。しかし、パートナーの理解もあり、1年後仕事を再開しました。TV埼玉で仕事を始めました。そこである壁にぶち当たりました。それは、言葉の壁です。イントネーションや訛りの問題です。NBCでアナウンサーとして仕事をしていたのもかわらずです。随所に長崎弁が私の体に染みついてしまっていたのですね。標準語に直すのに非常に苦労しました。毎日の練習はもちろんです、北九州出身の

パートナーに言葉をチェックしてもらいながら練習しました。5分間の放送を担当しましたが、その準備に多くの時間を費やしました。しかし、練習をするにつれて耳が次第に標準語に慣れてくるので諦めずに取り組んで良かったと思っています。TVの他にも、子どもショーの司会や、各種イベントの司会なども経験しました。

その後子どもが生まれて、その世話に専念しました。結果、アナウンサー、司会業から5年間も遠ざかりました。そこで痛感したのは、5年のブランクは、それまで築き上げてきたコネクションや仕事環境をほとんど白紙にしたということです。1人抜けても次にひかえているプロ司会者（またはアナウンサー）がいますし、仕事のチャンスを見逃しません。

ある程度、子どもに手がかからなくなったのと同時期に、ちょうど鎌倉ケーブルテレビが開局しました。運が良かったのか、そこのアナウンサーとしてまた働くことができました。今、振り返ってみると「何とかして仕事を続けよう」「やりたいことを考えて、一步踏み出す勇気を持とう」という気持ちを常に持っていたおかげだと思っています。

鎌倉ケーブルテレビは、視聴可能な約45,000世帯で視聴されています。全体の50%強の世帯数です。その番組の1つで私が現在も担当している番組に「お元気ですか？」という番組があります。月に2回15分の医療番組ですが、もう16年も続いている長寿番組です。最近では、例えば「ドライアイ」をテーマにした番組を放送しました。医療番組ということで、(1)間違いがあっては絶対にいけません、(2)知識を知ったかぶりしてはいけません、(3)知ったかぶりしてはいけないけど、ある程度の知識を知っておかないといけません。そこで、事前準備に多くの時間を充て、知識を十分入れてインタビューすることが大切になります。言い換えれば、事前準備を十分にしなければ本番は決してうまくいかないとも言えます。



←真剣に講演を聞いている生徒

医療番組の他にも、プロゴルフ選手にインタビューしたこともありました。又、テレビではありませんが、古典「吾妻鏡」の一場面である静御前と源義経とのシーンや、静御前の舞の話なども春の「鎌倉まつり」の中で解説しています。いずれも前準備の大切さを教えてくれました。最近では、外国人の観光客も増えてきたので、英語での解説も入れています。8月には「鎌倉花火大会」が行われます。この花火大

会は、鎌倉市の人口を遙かに超える27万人くらいの人々が訪れる鎌倉を代表する行事の1つです。花火大会を中継する番組も多くの人に見てもらっています。その中で、より話に説得力を持たせるために、実際に花火工場を訪れ、自分の目で作業工程を見てまいりました。以前、風向きの関係で花火が映らなかったときがあったのですが、工場見学で得た知識などを駆使して、その場をうまく切り抜けたという経験があります。

アナウンサーの仕事の他にもウェディングの司会者、ブライダルプランナーとしても仕事をしています。ブライダル司会、ブライダルプランナーの仕事は、サービス業の一つではないかと思っています。向き不向きが大いにあります。挨拶・コミュニケーション能力・対応能力・事務処理能力・心配りなどがが必要です。いくら上手に話せても、どれか1つでも欠けてはいけません。

コミュニケーションと聞いて、連想するものは言葉、挨拶など様々あると思いますが、私は「人と人との繋がりを円滑にするもの」だと考えています。初対面で会って、わずか6秒でその人の印象が決まるとも言います。笑顔でいること、身なりを正すことがいかに大切か思い知らされます。生物学者 M・スワンソンも、生きていく中で欠くことのできない4つのものとして、「空気・水・食べ物・コミュニケーション」を挙げています。空気、水と同様にコミュニケーションが大事なのです。

「人間の能力差は5倍で、意識の差（色々な所にアンテナを張り気づくことの差）は100倍」だと言われています。」たとえ、生まれつき能力があっても、意識が低ければダメですし、能力が低くても意識が高ければその人は成功することが出来ます。私が、様々な苦難に直面したときに「決して諦めない」という強い意識を持てたことが今の自分をつくっていると思うので、やはり意識を持つことは非常に大切です。

最後に、まとめとして3点言いたいと思います。まず1つ目は、目標に向かってチャレンジすること。そして、二つ目、今を大事に生きること。最後に、三つ目、奈留島・日本という自分の故郷に誇りと自信を持ち、親を大事にすることです。本日は、どうもご清聴ありがとうございました。

質問をする生徒→

